

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年6月19日

野良仕事

大きな水たまりのある田んぼ

種まき、田植えとお伝えしてきた田んぼの様子。今は葉の枚数も増え、緑の葉が風に揺れ、波打っています。どの田んぼも、びっちりときれいに育っていてほしいのですが、まれに、稻がないところが水たまりのようになっている田んぼがあります。

「本当に困っているよ。」と言うのは、種まきを見せていただいた横芝光町の越川大助さん。「通称ジャンボタニシと呼ばれる巻貝が大量発生していて、苗が小さくて柔らかいうちにうちに食べられてしまう。対策はあっても、根本的には駆除できなくて、繁殖力が強いから、追いつかない状態だね。」とのこと。田植え直後に食害を受けて無くなった部分を植え直す人もいますが、そのままになっている田もあり、その様子に目を奪われます。(写真)「このジャンボタニシの卵は派手なピンク色で、こんな色の卵を産む生物がいるのか！と最初は驚いたよ。」と聞き、調べると、このジャンボタニシは外来種だそうです。ここ横芝光町だけでなく、近隣市町にも広がっており、生産者はみな駆除に苦労しています。

越川さんのお宅には昨年に続き、ツバメがやってきて巣を作り、ひながピヨピヨと鳴いています。「ツバメが来る家はいいことがあるっていうから、今年も無事に収穫できるかな。」と笑います。今は「中干し（なかぼし）」といって、田んぼの水を抜いて、土に酸素を入れる時期です。ジャンボタニシに負けずに育った稻を見て、頑張れとエールを送りたくなりました。(B)

